

第 5 章 プログラム評価（レビュー）

プログラム評価（レビュー）は、第 2 章 4（3）で述べたとおり、業績測定・実績評価の結果や社会情勢等を踏まえ、実施中の施策についてテーマを選定し、総合的で掘り下げた分析・評価を実施することにより、施策や業務実施の見直しや改善につなげるものです。

国土交通省では、政策課題として重要なものや、国民から評価に対するニーズが高いものなどの観点から、平成 13～17 年度までの今後 5 年間に実施予定の 29 のテーマを選定しました。13 年度着手の 11 テーマについては、その評価書が国土交通省ホームページで公開されており、14 年度から着手の 7 テーマについて、関係部局で検討が進められています。また、15 年度からは 11 テーマについて検討が開始される計画です。

気象庁が国土交通省の政策評価で実施するプログラム評価のテーマは、次の 2 つであり、関係部局と協力し、評価書作成に向けて作業を進めています。

「火山噴火への対応策 有珠山・三宅島の経験から 」

【平成 14～15 年度】

「台風・豪雨等に関する気象情報の充実 災害による被害軽減に向けて 」

【平成 15～16 年度】

また、これら以外の国土交通省が行うプログラム評価のテーマで、気象庁に関係するものについては適切に参画しています。